



06 保健学科 (定員160人) の英語教育に関する取組 (令和7年度)

就 職

進 学

4
年
次
生3
年
次
生2
年
次
生1
年
次
生

2単位選択必修： 英語で学ぶ専門科目

選 択

看護学専攻
「英語で学ぶ看護過程」
「異文化間看護」
(各1単位)

将来、国内外の医療機関
に従事する看護職者とし
て働くうえで、基礎とな
る英語能力を身につける。

選 択

放射線技術科学専攻
「放射線技術学のための
医療英語 1」
「放射線技術学のための
医療英語 2」
(各1単位)

放射線技術科学に関する
英語を学ぶことにより、
国際的に活躍できる診療
放射線技師としての必要
な基礎知識を身につけ、
国際感覚を養う。

選 択

検査技術科学専攻
「臨床検査における医療
英語 (基礎)」
「臨床検査における医療
英語 (応用)」
(各1単位)

臨床検査領域における英
語による研究論文や資料
等を読み、最新の知見を
得ることが出来るように
なることを目指す。

選 択

共通
「Global Inter-
professional Work」
「Global Exploratory
Practice」
(各1単位)

在学中に留学や海外ボラ
ンティア活動等、多様な
学外活動にチャレンジし、
そのチャレンジの過程や
体験を学習目的と照らし
合わせてまとめ、議論す
ることでその学びを促進
する。

OHSEP
海外研修プログラム

希望者を募って協定
校との交流を行う。

(協定校)
・長庚大学 (台湾)
・高雄医科大学
(台湾)
・釜山カトリック大学
(韓国)
・ハサヌディン大学
(インドネシア)
・サン・カルロス大学
(フィリピン)
・シーマハカラサム
看護大学 (タイ)
・サリー大学 (英国)
・ウェイン州立大学
(アメリカ)

キャリアパス英語

SPACE英語

必 修

高年次英語 (1単位) 一般的テーマに関するコミュニケーションを重視 (保健学科専用クラス)

2年生必修
英語科目

「アカデミック英語 (プレゼンテーション)」「アカデミック英語 (ライティング)」
(各2単位)

各学生のレベルに応じて**学術目的の英語**を養成：Accuracyを重視して、英語によるプレゼンテーションができ、英文のリサーチペーパーが書ける力を身に付けます。

1年生必修
英語科目

「コミュニケーション英語 (S&L)」「コミュニケーション英語 (R&W)」
(各2単位)

各学生のレベルに応じて**一般教養の英語**を養成：Fluencyを重視して、英語によるコミュニケーション力を高めます。

医学部保健学科 定員160人

< 看護学80, 放射線技術科学40, 検査技術科学40 >

● 保健学科の英語学習の目標

医学部保健学科では、特にアジアを中心とした留学生との交流が活発であることから、リスニングやスピーキングを中心とした実用的なコミュニケーションスキルを必要とします。また、高年次においては最新の医学系の英語論文の読解や時に英語でのプレゼン資料の作成能力が求められます。

● 保健学科の英語学習の特徴

医学部保健学科では、1年次より韓国、台湾、インドネシアなどの大学を訪問し、国際交流をする機会があることが特徴です。国際交流を通して、異文化や多様な価値観を育みます。また、高年次においては、医学英語の専門知識や留学生との研究交流、卒業研究を海外で行うなどの取り組みを行い、実践的かつ専門的な英語教育を行っています。